



01. ビジョン策定に賛同した熱い思いを共有する同志たち
02. 「自分たちがやるぞ、という意志が大切」。ビジョン発表後のトークセッションでは、糸井さん、田中さん、山本市長が今後について語り合った
03. 熱意あふれる発表を行ったプロジェクトの代表者
04. ホテルリノバーションプロジェクトを発表する建築家の藤本壮介さん
05. 会場には4,000人ももの参加者が集まった



前橋ビジョンムービー
「めぶく」はこちらから



メインビジョンは「めぶく。」に決定

中間発表で示されたビジョンの原型を、本市出身のコピーライター・糸井重里さんが独自に解釈し、メインビジョンは「Where good things grow.ーめぶく。」に決定。

8月3日に行われた前橋ビジョン発表会では、メインビジョンとそれに添えられた詩を、萩原朔美前橋文学館長が朗読。本事業の提案者である田中さんが、「ビジョンは前橋市がどのようなまちを目指すのか、これからどこへ向かうのかを示す道しるべのようなもの。このビジョンを行政も民間も前橋の発展に関わる全ての人が目指していくことでこれま

前橋に芽吹く種 市民自らの力で花開く

でにないまちづくりを進められる」と提案しました。
また、ビジョンを受けて始まる10のプロジェクトと2つの団体の代表者が、自らが主体となって取り組む活動の内容や思いを発表。前橋ビジョンをPRするため制作された前橋ビジョンムービーの上映もありました。

発表会後半に行われた糸井さん、田中さん、山本市長のトークセッションでは、100年先を見据えたビジョンを受け、熱く議論を展開。糸井さんは、「地元出身だからあえて言うが、前橋は全国的に見ても特徴

前橋ビジョンの発表を契機に、ビジョンを共有し、私たちが住むまちを、民間、市民、行政が一体となり、より魅力的にするためのさまざまな活動やプロジェクトが、いよいよ始動します。

のないところ。けれど、田中さんのような人が、地元で活動する若者に触発され、前橋のことを何も知らないKMSに依頼した。それはどこもやっていないこと」と発言。「発表も、それぞれ自分たちがやるんだという思いが強かった。何事もアイデア次第、やめなことが大切」と続け、前橋のこれからに対しアドバイス。山本市長は「市民のさまざまな活動が花開くよう応援したい」と応じました。

Where good things grow.

その芽は、まだ小さい。
風に吹かれ、雨を待ち、太陽の熱さにその身をあずける。
そしていつか、枝をつけ、葉を繁らせ、
強く太い幹となる日を夢見ている。
人は芽だ。この地は芽だ。そしてつながりは芽だ。
いまは幼い芽だけれど、未来の大樹を隠し持つ芽だ。

Where good things grow.

この地ではじまる、芽ぐみ。
ここから、よきものが伸びてゆく。
いくつもの芽が育ち、やがては大きな森をつくっていくだろう。

Where good things grow.

わたしたちは、この地の芽吹きのために、
未来に希望の森を見るために、
厳しくも優しい風になろう。
慈しみの雨になろう。
そして、なによりも熱い太陽になろう。

Where good things grow.

きっと、芽吹く。
前橋の大地の下にはたくさんの種が、そのときを待っている。

Where good things grow.

8月3日、ヤマダグリーンドーム前橋で前橋ビジョンが発表されました。ここでは、ビジョンとそれに基づき進められる活動などを紹介します。

100年先を見据えるビジョン
ついに発表

前

橋市は、都市魅力アップ共創（民間協働）推進事業として、ジェイアイエヌ社長の田中仁さんが代表理事を務める田中仁財団と共に、今後のまちづくりの基本理念となる前橋ビジョン策定プロジェクトを推進。財団がブランド戦略を依頼したドイツのコンサルティング会社、「KMS TEAM」が市民に聞き取りなどを行い、2月に行われた中間発表で「Where good things grow.（いいものが育つまち）」というビジョンの原型が示されました。

特集 01

前橋ビジョン発表

図政策推進課 ☎027-898-6513

市民の本気が動き出す

